

7月のデータ

8月1日現在 ()内は前月比

●人のうごき

人口	110,890人 (-100)
男性	51,460人
女性	59,430人
出生	40人
死亡	133人
転入など	203人
転出など	210人
世帯数	56,164世帯 (-19)

●火災など

火災 2件 / 救急 551件 /
交通事故 25件

9月の納税期限 9月30日(木)

- ・国民健康保険税 3期分
- ・後期高齢者医療保険料 3期分

ごみ・リサイクルなど

- ※9月20日(祝)のごみ収集、資源物回収および、し尿収集は休みです。
- ※9月23日(祝)のごみ収集、資源物回収および、し尿収集は実施します。

新型コロナに関する相談・受診方法

～ 受診前に必ず電話相談を ～

- 1 まずは、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話相談
- 2 相談した医療機関で診療・検査ができない場合や相談する医療機関に迷った場合等
以下に問い合わせてください。診療・検査ができる医療機関を案内しますので、案内された医療機関に電話相談したうえで受診してください。

受診・相談センター (南筑後保健福祉環境事務所)

平日 ☎68-5224 FAX 72-3035

夜間・休日 ☎092-643-3288

大牟田市

住所 大牟田市有明町2丁目3番地
電話 0944-41-2222 (代表)
FAX 0944-41-2552 (代表)
ホームページ <https://www.city.omuta.lg.jp>
開庁日時 平日 8:30～17:15 (土日・祝日休み)
※紙面では、市外局番(0944)を省略しています。

広報紙の配布に関する問い合わせは、
シルバー人材センター (☎53-2319) へ

人が育ち、人でのびにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



目次 contents

2021.9.1 No.1277

- 3 未来を担う“おおむたっ子”手鎌小学校
- 4 8月の観測史上最大の大雨に
- 5 プラスチック製容器包装の出し方
- 6 新型コロナワクチン接種
- 7 おおむた PR 隊が始動
- 8 大牟田市動物園 80 周年&ともだちや絵本美術館開館
- 9 love おおむた
- 10 まちかどレポート
- 12 市からのお知らせ (01～05)
住民票などはコンビニで! ほか
- 15 おおむたまちなか新聞
- 16 すこやか健康
健康診査を受けましょう ほか
- 20 暮らしの情報/食改善おすすめ簡単レシピ
- 25 9月の無料相談
- 26 おでかけガイド
おおむたまち歩き定時ツアー ほか
- 30 子育てひろば
- 32 動物園へ行こう! /市民のひろば
- 33 休日当番医・平日時間外小児急患診療当番医
- 34 輝き人/柔道強国! ジョージアの魅力

● 今月の休日窓口 9月12日(日)

時間 午前8時30分～午後0時30分

開設 市民課、保険年金課、税務課、
納税課、子ども家庭課

※詳しくは、市役所代表電話から各課へ。
ホームページでも確認できます。 →



次回の『広報おおむた』は10月1日号

10月1日～3日にお届けします



今号の表紙



7月31日、8月1日に石炭産業科学館で、「鉄道deあそぼう♪」が開催されました。怖がる子もいましたが、多くの子どもたちは、本物の石炭を燃やして走るミニSLの乗車を楽しんでいました。ジャー坊も一瞬でしたが、無事に乗車することができました。



①1年生の芋苗植え ②2年生の野菜の種まき ③3年生の海苔すき体験 ④4年生の漉いね踊り ⑤5年生の稲刈り

第42回 未来を担う“おおむたっ子”

農業や食文化体験を通じた食育に 取り組んでいます 手鎌小学校

手鎌小学校では、平成29年度から学年ごとに、食への関心を高める活動や農業体験など、さまざまな食育に取り組んでいます。

1・2年生は、地域の人から教えてもらいながら、芋苗植えや野菜の種まきを行い、収穫までみんなで大切に世話をし、農作業に携わる人々への感謝の心を育みます。3年生では、校区的海苔生産者から海苔づくりの話を聞き、前日に摘んだばかりの海苔の香りを感じながら、昔ながらの方法で海苔すき体験を行います。4年生は、干拓工事が行われていた頃、工事の仕事をしている人々の様子や気持ちを表現した踊り「漉いね踊り」を地域の保存会の人に教えてもらいます。昨年はコロナの影響で行えませんでした。例年、手鎌地区公民館で開催される「ふれあい文化祭」で地域の人に発表しています。5年生は、地域の方の田んぼで田植えや稲刈りを体験し、自分たちで収穫した米を使い、干拓工事や農作業の合間に食べられていた「黒崎串だご」作りに挑戦します。6年生は、日本の伝統的な食文化の中でよく使われており、大牟田でも生産されている大豆について自分たちで調べ、学んだことをパンフレットにまとめ、廊下に掲示して発表しました。

コロナの影響で、例年どおりの活動ができないこともありますが、地域の人と一緒に工夫しながら地域の伝統文化や食文化を学んでいます。



明治8年に創立。西に有明海、北に県立公園を持つ、自然豊かな地域です。広大な干拓地が広がり、独自の歴史や文化が宿っています。



6年生は大豆からできる納豆や醤油などについて調べました

ようこそ！文化財の裏側へ Vol.5

「発掘調査」その2 遺構の掘り下げ



遺構の半分を掘り、土の堆積状態を確認し写真や図面をとります。
(赤で囲ったところは土器です)

8月1日号で紹介した、ショベルカーによる「表土剥ぎ」と、手作業による「遺構検出」で遺構（生活の痕跡）を確認できたら、いよいよ遺構の掘り下げを行います。遺構は、竪穴住居など建物の跡や溝、ものを捨てた穴など。これらを一気に掘ってしまうのではなく、遺構がどのように埋もれたのかを確認するために、一部をスコップ（移植ゴテ）で丁寧に少しずつ掘っていきます。コツと硬いものに当たり、土器のかけらや石器などが出てきた時は、喜びもひとしおです。